

仙台高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	建築設計製図Ⅱ
科目基礎情報					
科目番号	0136		科目区分	専門 / 必修	
授業形態	実験・実習		単位の種別と単位数	履修単位: 4	
開設学科	建築デザイン学科		対象学年	2	
開設期	通年		週時間数	4	
教科書/教材	赤地竜馬他: 建築設計製図, 実教出版				
担当教員	小林 仁, 伊師 華江, 相模 誓雄, 藤田 智己, 祝 亜弥				
到達目標					
縮尺1/200のRC造, S造の図面を理解し, 描くことができること. 透視図・アクソメ図を描くことができること. RC造, S造の空間設計ができること.					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	建築図を正確かつわかりやすく写し取ることができる。	建築図を写し取ることができる。	建築図を写し取ることができない。		
評価項目2	建築図から正確かつわかりやすい模型を作製できる。	建築図から模型を作製できる。	建築図から模型を作製できない。		
評価項目3	設計製図のスキルを使って優れたデザインの提案ができる。	設計製図のスキルを使ってデザインの提案ができる。	設計製図のスキルを使ってデザインの提案ができない。		
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	建築設計図面は大きく意匠図・構造図・設備図・施工図に分けられます。2年次では、鉄筋コンクリート構造(RC造)と鉄骨造(S造)について、縮尺1/200の意匠図での図面表現及び空間設計ができる力を養成します。また、透視図・アクソメ図の作成及び模型制作を行い空間表現の方法と感覚を体得します。これら通じて創造的で高度な実践的技術者の養成を目指します。さらに、以上の知識やスキルを使った小空間の設計課題を行います。				
授業の進め方・方法	授業は、RC造・S造についての課題の説明、及び図面作成や模型制作等の実習とします。設計課題は、個別指導(エスキス)を行います。個人で成果物を作製し、発表してもらいます。 予習: 課題作成に必要な資料や道具などの準備をする。加えて、設計課題の場合はエスキスの準備。 復習: 各回の到達目標まで課題を仕上げる。加えて、設計課題の場合はプランの修正及びBrush up。				
注意点					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス S造 平面図①	前期計画・課題説明・諸注意 レイアウト、基準線、柱、壁	
		2週	S造 " ②	仕上げ材、寸法・文字	
		3週	S造 断面図、立面図①	基準線、断面(梁、床、屋根、建具)	
		4週	S造 " ②	見えがかり線、寸法・文字 提出	
		5週	模型製作①	グループワーク: 計画	
		6週	模型製作②	グループワーク: パーツの作製	
		7週	模型製作③	グループワーク: パーツの組立	
		8週	模型製作④	提出	
	2ndQ	9週	S造 設計①パビリオン	グループワーク: 情報収集、発表	
		10週	S造 設計②パビリオン	エスキス	
		11週	S造 設計③パビリオン	エスキス	
		12週	S造 設計④パビリオン	中間発表	
		13週	S造 設計⑤パビリオン	エスキス	
		14週	S造 設計⑥パビリオン	提出、発表・講評会	
		15週	予備日		
		16週			
後期	3rdQ	1週	ガイダンス RC造 平面図	後期計画・課題説明・諸注意 レイアウト、基準線、壁、仕上げ材、寸法・文字	
		2週	RC造 立面図、断面図	基準線、断面(梁、床、屋根、建具)、見えがかり線、寸法・文字	
		3週	提出 アクソメ図①	課題内容、描画法説明 壁、屋根	
		4週	アクソメ図②	建具、外部仕上げ	
		5週	提出 透視図(2消点外観)①	課題内容、描画法説明 立体化	
		6週	透視図(2消点外観)②	細部仕上げ	
		7週	提出 透視図(1消点内観)①	課題内容、描画法説明 空間化	
		8週	透視図(1消点内観)②	細部仕上げ	
	4thQ	9週	提出 設計①小公園	課題説明	
		10週	設計②	資料収集 講評	
		11週	設計③	スタディー提出 講評、エスキス	

		12週	設計④	スタディー提出 講評、エスキス
		13週	設計⑤	スタディー提出 講評、エスキス
		14週	設計⑥	提出、講評会
		15週	予備日	
		16週	予備日	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
専門的能力	分野別の専門工学	建築系分野	設計・製図	製図用具の特性を理解し、使用できる。	3	
				線の描き分け(3種類程度)ができる。	3	
				文字・寸法の記入を理解し、実践できる。	3	
				建築の各種図面の意味を理解し、描けること。	3	
				図面の種類別の各種図の配置を理解している。	3	
				図面の尺度・縮尺について理解し、図面の作図に反映できる。	3	
				建築図面を模写し、模写した図面が理解している。	3	
				立体的な発想とその表現(例えば、正投象、単面投象、透視投象などを用い)ができる。	3	
				各種模型材料(例えば、紙、木、スチレンボードなど)を用い、図面をもとに模型を製作できる。または、BIMなどの3D-CADにより建築モデルを作成できる。	3	
				与えられた条件をもとに、コンセプトがまとめられる。	3	
				与えられた条件をもとに、動線・ゾーニングのエスキスが出来る。	3	
				与えられた条件をもとに、配置図、各階平面図、立面図、断面図などがかける。	3	
設計した建築物の模型またはパースなどを製作できる。	3					
講評会等において、コンセプトなどをまとめ、プレゼンテーションができる。	3					

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	100	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	100	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0